

スクウェア
SQUARE



しろい

迎春

北総一揆!



★12月定例議会開催★

令和2年11月25日～12月18日まで24日間の日程で12月定例議会が開催されました。人権擁護委員3名の承認のあと、白井市企業立地促進条例の期間延長、老人福祉センター指定管理者の指定、白井市第5次総合計画後期基本計画、新型コロナウイルス感染症対策や小中学校のトイレ洋式化改修工事など3億8,147万2千円を増額する令和2年度一般会計補正予算など15議案が上程されすべて可決しました。また、「安心して子どもを産み育てられるよう改善を求める陳情」を採択しました。

★12月議会では「柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合」について一般質問をしました★

- Q：柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合のごみ共同処理から柏市が抜けることが検討されているが、市はどのような説明を受けているのか。
- A：両市から共同処理の解消を含めた協議について準備を進めているとの説明を受けています。
- Q：この問題は柏市が旧沼南町と合併する時から検討されていると聞いているが。
- A：承知しておりません。
- Q：柏市がごみ処理から抜けた場合の市の影響はどうか。
- A：組合規約の負担割合が変わらなければ影響はありません。
- Q：組合はし尿処理だけとなるため規約が変更され、分賦金割合が変わるのではないのか。
- A：現段階では分からないところもあり、答弁は差し控えます。

- Q：負担割合が変わると当然影響があるわけで、市はこの協議にどのように関わっていくのか。
- A：正式に協議が開始される段階で対応してまいります。
- Q：どのような対応をするのか。
- A：十分話をして協議を進めていきたいと考えます。
- Q：規約変更は各自治体の議決が必要。負担割合で市が反対したら柏市は抜けれないのか。
- A：現段階では答弁は差し控えます。
- Q：鎌ヶ谷市からごみ共同処理の相談があれば協議に臨む考えはあるか。
- A：これまでの経緯があり今の計画を進めていきます。
- Q：市は複雑に一部事務組合を構成しているが、一度、一部事務組合の整理統合を検討してはどうか。
- A：これまでの歴史、約束事がありこれを全部整理して改める考えはありません。

※白井市はこの組合に「し尿共同処理」で参加している

(概要は2月15日新聞折込予定の『議会だより』、全文は市役所ロビー・図書館に置いてある『白井市議会会議録』をご覧ください。)

動画はこちらから→ インターネット映像配信

白井市議会

⇒検索

⇒会議中継

⇒岩田典之

【新型コロナ感染症対策に係る交付金活用状況】

国からは昨年5月に一人10万円の特別定額給付金(約62億円)が給付されましたが、それ以外にも地方創生臨時交付金や疾病予防対策事業費等補助金などこれまでに6億数千万円が交付されています。主なものを紹介します。

- ・令和3年4月1日までに生まれた新生児への給付金10万円
- ・18歳以下の子ども1人当たり1万円の給付
- ・小中学校の修学旅行の中止や延期に伴うキャンセル料の補助
- ・農業者に対するマスク、消毒液など衛生資材の配布
- ・前年比の売り上げ20%以上減少した事業者へ10万円給付
- ・市内を運行する路線バス及びタクシー事業者への支援金
- ・市役所及び各センター窓口に飛沫防止シートの設置
- ・文化会館や運動施設、来校者の体温測定用サーマルカメラ

- ・小中学校におけるWi-Fi環境の整備
- ・希望する高齢者へのPCR検査助成
- ・高齢者インフルエンザ予防接種自己負担分の補助
- ・災害時避難所感染症対策パーティションや防災倉庫
- ・医療・介護・障害福祉事業者支援金10万円～20万円
- ・生活困窮者住居確保給付金(世帯人数により月額数万円)
- ・保育所・地域子育て支援拠点などへの感染防止備品50万円
- ・市役所と保健福祉センター連絡通路の自動ドア改修工事

【岩田のりゆきプロフィール】

1954年山口県生まれ
広島音楽高等学校音楽科卒業 昭和音楽短期大学音楽科卒業
中央大学法学部通信教育課程卒業
2000年 白井町議会議員初当選 現在5期目
白井市議会副議長、議会運営委員長、産業民生常任委員長
環境経済常任委員長、決算審査特別委員長 等歴任
【現在】 NPO法人白井助け合いネット理事、清水口小学校地区
社会福祉協議会推進委員、「白井脳いきいき教室」運営スタッフ など
・座右の銘「人生有限 価値無限」



市政に対するご意見・ご要望等ありましたらご一報下さい。

白井市議会議員 岩田のりゆき

〒270-1433 白井市けやき台2-7-1-108

TEL/FAX 047-492-1075 直通 090-9138-6183

E-mail: iwanori@apricot.ocn.ne.jp

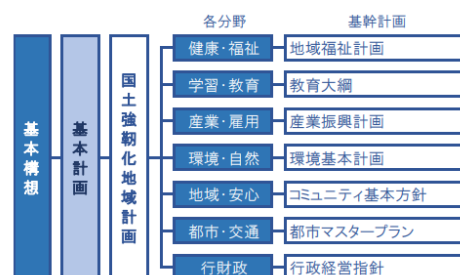
<http://iwanori.net>

後期基本計画決定！（2021年～2025年）

白井市第5次総合計画（2016～2025年）に基づき策定された後期基本計画が承認されました。この計画は、重点戦略3点を掲げ2021年度から5年間の計画を策定したものです。人口減少、高齢化の進展などにより、厳しい財政状況が予想されますが、自主財源の確保や事業の選択と集中をすることで限りある資源を有効に活用し、持続可能な行財政運営が求められます。

この計画には戦略ごとに取組目標と取組指標を掲げてあり、目標実現に向けた取り組みが重要となります。計画期間が終了する令和7年度末には、市の貯金である財政調整基金は約20億円が確保でき、引き続き健全な財政を維持できる見込みです。しかし、将来的には市税の減少などにより、財政状況は厳しくなることが見込まれることから、将来を見据えた経営的戦略が必要です。

この計画では基本構想に位置付けた重点戦略を実現するための具体的な取組を定めていますが、新型コロナウイルス感染症の動向により、新たな課題への対応が必要となります。しかし、基本構想で示されている「ときめきとみどりあふれる快活都市」の「ときめき」がどこに示されているのか判然としません。白井市は20年前の平成12年、笠井市長が理事を務めていた日本ヘルスプロモーション学会が推奨する「健康文化都市宣言」をしています。分かりやすい標語の「健康文化都市」に変更することを提案します。



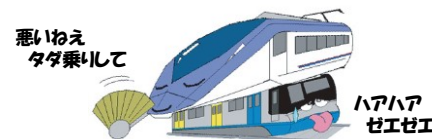
【北総鉄道2020年度上期決算は黒字を保つ】

昨年12月、北総鉄道(株)から2020年度上期決算が公表されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送人員は1,501万2千人と前年比539万3千人(26.4%減)の減少となりました。

営業収益は90.6億円(前年比28.4%減)、営業利益は12億7千万円(前年比47.4%減)となり、法人税等を差し引いた純利益は、7億5千万円(50.9%減)となったものの

引き続き黒字を確保しています。新型コロナウイルス感染症の影響はまだありますが、輸送人員は回復傾向にあります。

私の視点



親会社の京成電鉄(株)上半期決算も公表されました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、182億8千万円の赤字(前年は211億8千万円の黒字)となりました。鉄道事業に限れば、営業利益は66億1千万円の赤字となっています(前年は107億5千万円の黒字)。

特に成田と都心を結ぶスカイライナーの運輸収入は落ち込みが激しく、30億4千万円から3.0億円(90.0%減)と前年と比較して大幅に減少しました。しかし、北総線の軌道上を走るスカイライナーやアクセス特急から北総鉄道に入る収入はもともと実質ゼロなため、北総鉄道にとってこの影響はなかったものと考えられます。

★岩田のりゆき議会報告会のご案内★

日時：1月22日(金) 13:30～

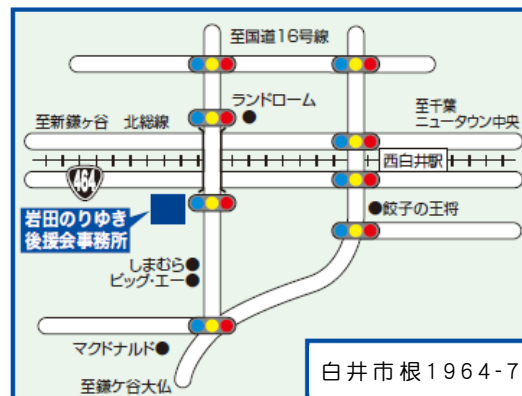
場所：岩田のりゆき後援会事務所

(右記地図参照)

新型コロナウイルス感染予防のため

- ・マスクの着用をお願いします
- ・受付で手指の消毒をお願いします
- ・受付で検温のご協力をお願いします

※駐車場はありません



白井市根1964-7

《岩田典之後援会のご案内》

岩田のりゆきの政治活動を支援し、ご意見をいただける方のご入会を心より歓迎いたします。

入会金 なし 年会費 1口 1,000円

・年会費及びカンパは下記又は本人へお願いします。

振込先：京葉銀行白井支店 普通 5273831

口座名義 岩田典之後援会



討議資料



a society for the support of IWATA NORIYUKI